

欧州特許庁、三極特許庁会合の成果を公表

2011年11月12日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、11月7～10日にパリ近郊のサン・ジェルマン・アン・レーにおいて、ホストとして開催した日米欧の三極特許庁による第29回年次会合の結果を公表した。また、EPOが管理・運営する三極ウェブサイトには、三極特許庁による共同プレスリリースが掲載された。

本年の三極特許庁会合における最も大きな成果の一つに挙げられるのが、共通引用文献（CCD: Common Citation Document）の三極ウェブサイト上でのサービス提供開始である。このツールを利用することによって、ユーザーは三極特許庁に出願された同一の出願について、各庁の審査において引用された文献のリストを1回のアクセスで取得することができる。本プロジェクトは、三極ユーザーからの要望を受けて三極特許庁が協力して開発に取り組んだものであり、CCDをインターネット上で無料で提供することによってユーザーの期待に応える成果が得られたと言える。

CCDの成果について、三極特許庁の長官は、共同プレスリリースにおいて次のとおりコメントしている。

欧州特許庁（EPO）バティステリ長官「CCDの開始は我々の協力のマイルストーンであり、世界特許システムの効率改善における重要な前進である。」

日本国特許庁（JPO）岩井長官「この重要な取組の開始を発表することができ光栄である。これは知財庁間におけるワークシェアリングを実行する適切なインフラを我々が整備したことの一例である。」

米国特許商標庁（USPTO）カッポス長官「本プロジェクトを可能にするため、三極特許庁は引用文献データを交換する全く新しい手法を開発した。本ツールが三極特許庁からのデータを含むことに加えて、他の特許庁を含めるために拡張されており、全ての情報を世界中にデジタルで取得可能にする。」

また、今回の会合では、特許制度調和へ向けた議論の促進、特許審査ハイウェイ（PPH）の品質に関する研究の開始、三極特許庁間のPCT-PPHの2年間の試行期間延長等の多くの成果が得られた。さらに、今回の会合に合わせて、11月9日には、日米欧韓による四庁統計報告書が三極ウェブサイトにおいて公開された。

来年、2012年11月には、JPOが記念すべき第30回三極特許庁会合をホスト開催する。

— EPO のプレスリリースは、以下参照 —

[Trilateral Patent Offices agree on milestones at annual conference](#)

[The most successful trilateral conference in 29 years](#)

— 三極特許庁のプレスリリースは、以下参照 —

[The Trilateral Patent Offices agree on milestones at their annual conference \(PDF\)](#)

— 三極ウェブサイトの CCD は、以下参照 —

[Trilateral-CCD](#)

— 四庁統計報告書は、以下参照 —

[Statistical reports](#)

— 四庁統計報告書に関する JPO によるプレスリリースと日本語の説明は、以下参照 —

[四庁統計報告書](#)

(以上)